

竜王町 グランドデザイン 構想(案)

未来へ 竜王2050プロジェクト ～竜王の原風景に抱かれた安全でテクノロジーなまちづくり～

30年後のまちの理想の姿

- 竜王らしい風景の中で心豊かに暮らせるまち**
 - 自然の豊かさや恵みを実感できるまち
 - 人々の笑顔があふれるまち
 - 生まれ育った地域で住み続けることができるまち
 - 住民同士が支え合うまち
- 人と人との繋がりを創造する中心核**
 - 子ども、高齢者、外国人にいたる全ての人の繋がりの創造
 - 多様な個性を発揮できる活動の場としての機能充実
 - エネルギーの効率的利用、施設の適切な維持管理
- 未来を担う子どもを育むまち**
 - 竜王の伝統を学ぶ
 - 外国語や技術革新の先端を走るにふさわしい教育環境
 - 子育て・教育環境の発信
 - 住み続けたい、帰ってきたい、移り住みたい気持ちの醸成
- 誰もが安全・便利・健康に暮らせるまち**
 - 社会基盤の整備、次世代エネルギーの導入
 - 移動しやすい道路整備、自動運転技術の活用
 - IoTを活用した健康づくりや暮らしやすさのサポート
- 「made in 竜王」の産業を育むまち**
 - AI等を利用し、農業の経営体や生産体制を強化
 - 地域特性を活かした農業、農業を活かした観光産業の推進
 - 竜王から世界に発信できる、ものづくり産業のまち

安心・安全なインフラの整備 ● 日野川の改修 ● 国道8号の機能強化 ● Society5.0への対応

- 各コミュニティ地域におけるコンパクトな土地利用形成
- 道の駅を活かした竜王ブランドの強化、竜王の魅力の情報発信
- 広域交通の利便性を活かした産業交流軸の形成、新たな開発や企業の誘致
- 近隣都市を結ぶ新たな道路整備
- 自然体験型レクリエーションエリア
- まちの玄関口として賑わいの感じられるエリアづくり



- 【全体的な考え方】**
 - ◆ 中心核の活性化
 - ◆ 集落や地域のバランスある発展
 - ◆ 中心核と各集落や各拠点のネットワークづくり
- 地域力を活かした持続可能な自治組織、地域で支え合うコミュニティづくり、総合診療・在宅医療の充実 等
- 東西・南北に移動しやすい、中心核にアクセスしやすい道路網の整備
- 企業やバス事業者との連携による無人走行バスの運行
- 中心核への更なる都市機能の集約化、町の顔にふさわしい良好な町並み景観の形成、多様な交流の創出 等
- AI・ICT技術を活かしたスマート農業、地域特性に応じた農業の展開、農業を活かした観光の推進
- 各エリアにおける身近な生活サービス機能の維持・機能強化、自治組織の見直し

新たな工場や研究開発機関等の誘致による、ものづくり産業の振興

自動運転技術を活かした次世代自動車の開発など、新しい車社会への対応